

注3

大学番号：私277

[平成27年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

九州保健福祉大学 生命医科学部 生命医科学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人順正学園

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウゴウキカクブ フチョウ センダ ヨシタカ
総合企画部 部長 仙田 貴孝

電話番号 086-231-3613

（夜間） 086-231-3613

F A X 086-231-3615

e-mail t-nishi@office.jei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生命医科学部

<生命医科学科>

ページ

| | |
|-------------------|----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 9 |
| 4. 既設大学等の状況 | 11 |
| 5. 教員組織の状況 | 15 |
| 6. 留意事項等に対する履行状況等 | 21 |
| 7. その他全般的事項 | 39 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人順正学園

(2) 大学名

九州保健福祉大学

(3) 大学の位置

〒882-8508
宮崎県延岡市吉野町1714-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|--------------------------------|------|----|
| 理事長 | (カケミヤコ) 加計 美也子 (平成13年1月) | | |
| 学長 | (サコダスミオ) 迫田 隅男 (平成26年4月) | | |
| 学部長 | (オオノエイジ) 大野 英治 (平成27年4月) | | |
| 学科長等 | (オオノセツヨ) 大野 節代 (平成27年4月) | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称(学位) | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------|------|----------|------|----|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 生命医科学部 生命医科学科 学士 (生命医科学) | 保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。) | 4年 | 60人 | — 年次人 | 240人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|----------------|-------------------|--------|-------------------|--------|-------------------|--------|--------|--------|-----------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 60 () [] | — | 60 () [] | — | 60 () [] | — | / | / | 1.17 倍 | |
| 志願者数 | 180 () [] | — | 189 () [] | — | 183 () [] | — | / | / | | |
| 受験者数 | 166 () [] | — | 182 () [] | — | 179 () [] | — | / | / | | |
| 合格者数 | 163 () [] | — | 161 () [] | — | 183 () [] | — | / | / | | |
| B 入学者数 | 80 () [] | — | 69 () [] | — | 63 () [] | — | / | / | | |
| 入学定員超過率 B/A | 1.33 | | 1.15 | | 1.05 | | / | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 備 考 |
|-----|----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|--------|--------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [-] (-) 79 | [-] (-) - | [-] (-) 69 | [-] (-) - | [-] (-) 63 | [-] (-) - | | | |
| 2年次 | | | [-] (-) 78 | [-] (-) - | [-] (-) 66 | [-] (-) - | | | |
| 3年次 | | | | | [-] (-) 77 | [-] (-) - | | | |
| 4年次 | | | | | | | | | |
| 計 | [-] (-) 79 | [-] (-) - | [-] (-) 147 | [-] (-) - | [-] (-) 206 | [-] (-) - | | | |

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--------------------------|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成27年度 入学者 | 80 人 | 3 人 | 平成27年度 | 2 人 | 0 人 | 心神耗弱(1人)、進路変更(1人) | 3.75 % |
| | | | 平成28年度 | 1 人 | 0 人 | | |
| | | | 平成29年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| | | | 平成30年度 | / 人 | / 人 | | |
| 平成28年度 入学者 | 69 人 | 3 人 | 平成28年度 | 3 人 | 0 人 | 進路変更(1人)、就職(1人)、身体疾患(1人) | 4.34 % |
| | | | 平成29年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| | | | 平成30年度 | / 人 | / 人 | | |
| 平成29年度 入学者 | 63 人 | 0 人 | 平成29年度 | 0 人 | 0 人 | | 0.00 % |
| | | | 平成30年度 | / 人 | / 人 | | |
| 平成30年度 入学者 | / 人 | / 人 | 平成30年度 | / 人 | / 人 | | % |
| 合 計 | 212 人 | 6 人 | | | | | 2.83 % |

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生命医科学部 生命医科学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|----------|---------------------|-----------|-----------|----|----|----------|-----|----|----|----|----------|--------------------------------|-------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 大学共通基礎科目 | 英語 I | 1前 未開講 | 2 | | | | 1 | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | 英語 II | 1後 未開講 | 2 | | | | 1 | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | メディアリテラシー 情報処理入門 | 1前 1後 | 2 2 | | | | | | | | 兼1 兼1 | | |
| | 情報処理演習 | 2前 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | エンカレッジ教育 | 1後 未開講 | 2 | | 1 | | | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | キャリア教育 | 2前 1前 | 2 | | 1 | | | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) 通常開講 (29) | |
| | コミュニケーション論 | 1前 未開講 | 2 | | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | 総合教育 QOL 概論 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | 兼2 | 教育効果充実のため、兼任教員から専任教員に変更(28) | |
| | 人間の尊厳 | 1前 1後 | 1 | | | 1 | | | | | 兼1 | 兼担教授退職のため担当者変更(27) | |
| | 日向国地域論 | 1後 未開講 | 2 | | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | 国際保健福祉論 | 2前 2後 | 2 | | | | | | | | 兼1 | 通常開講 (29) | |
| | 国際人道援助論 | 2後 1通 | 2 | | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | ボランティア活動 | 1通 未開講 | 2 | | | | | | | | 兼1 | 通常開講 (29) 履修希望者がいなかったため(28) | |
| | 基礎科目 | 英会話 | 1前 未開講 | 2 | | | | 1 | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) |
| | | 実践英語 I | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | | 履修希望者がいなかったため(29) |
| | | 実践英語 II | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | | 実践英語 III | 3前 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| | | 実践英語 IV | 3後 | 2 | | | | 1 | | | | | |
| 物理学 | | 1前 | 2 | | | | | | 1 | | | | |
| 化学 | | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| 生物学 | | 1前 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 分子生物学 | | 1後 | 2 | | | 2 | | | | | | 教育効果充実のため担当者追加(27) | |
| 基礎免疫学 | | 1前 | 2 | | | 2 | | | | | | 教育効果充実のため担当者追加(27) | |
| 法学 | | 1前 未開講 | 2 | | | 1 | | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| 哲学 | | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| 生命倫理学 | | 1後 1前 | 2 | | | 1 | | | | | | 通常開講 (29) | |
| 心理学 | | 1前 未開講 | 2 | | | | | | | | 兼1 | 履修希望者がいなかったため(28) | |
| 統計学 | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | | | |
| 情報科学概論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--------|------------|----|---|---|--|---|---|--|---|--|
| 専門教育科目 | 臨床医学総論 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床検査医学総論 | 3後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床実習 | 3後 | 5 | | | 1 | | | | |
| | 臨床検査学演習Ⅰ | 4前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床検査学演習Ⅱ | 4後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床細胞学総論Ⅰ | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床細胞学総論Ⅱ | 2前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床細胞学総論Ⅲ | 2後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床細胞学演習Ⅰ | 3前 | | 1 | | | | | 1 | |
| | 臨床細胞学演習Ⅱ | 3後 | | 1 | | | 1 | | | |
| | 細胞診断学特論Ⅰ | 4前 | | 4 | | 1 | | | | |
| | 細胞診断学特論Ⅱ | 4後 | | 4 | | | 1 | | 1 | |
| | 生命医科学卒業研究Ⅰ | 4通 | | 8 | | 7 | 2 | | | |
| | 生命医科学卒業研究Ⅱ | 4通 | | 8 | | 1 | 1 | | 1 | |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|----|----|----|-------|-------|-------|-------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 53 | 39 | 0 | 92 | 54 | 39 | 0 | 93 | |
| | | | | [1] | [0] | [0] | [1] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-----------|-----|------|-------|-------|--|
| 1 | R I 検査学実習 | 1 | 2 | 専門 | 必修 | 平成28年度入学生より臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第3項に定める厚生労働大臣の指定する科目の変更に伴い廃止し、新たに2科目を新設(28) |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

臨床検査技師国家試験受験資格に係る厚生労働大臣の指定する法律の改正に伴い変更しており、平成28年度入学生より学生便覧等に示し、学生周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{92} = \boxed{1.08}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | | |
|---------------------|--------------------------------------|---|----------------------|--------------------------------------|------------------------------|--|----------|--|--|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | その他へ駐車場を計上 (28) その他 ①借用面積:1,476.00㎡ 借用期間:30年 ②借用面積:4,687.82㎡ 借用期間:5年更新 ③借用面積:1163.00㎡ 借用期間:10年 | | | |
| | 校舎敷地 | 201,822.00 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 201,822.00 ㎡ | | | | |
| | 運動場用地 | 21,174.00 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 21,174.00 ㎡ | | | | |
| | 小 計 | 222,996.00 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 222,996.00 ㎡ | | | | |
| | そ の 他 | 9,627.71 ㎡ 8,464.71 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 9,627.71 ㎡ 8,464.71 ㎡ | | | | |
| | 合 計 | 232,623.71 ㎡ 231,460.71 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 232,623.71 ㎡ 231,460.71 ㎡ | | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 38,119.10 ㎡ 38,058.83 ㎡ | 0 ㎡ | 0 ㎡ | 38,119.10 ㎡ 38,058.83 ㎡ | 校舎を再度見直した結果、訂正 (28) | | | |
| | (38,119.10 ㎡) (- 38,058.83 ㎡) | (0 ㎡) | (0 ㎡) | (38,119.10 ㎡) (- 38,058.83 ㎡) | | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 演 習 室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | 大学全体 | | | |
| | 34 室 | 43 室 | 88 室 | 1 室 (補助職員 1 人) | 1 室 (補助職員 0 人) | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | | | | |
| | 生命医科学部 生命医科学科 | | | 14 室 | | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 図書購入のため、増冊 (29) 図書購入のため、増冊 (28) | |
| | 生命医科学部 生命医科学科 | 1,863 [200] 1,606 [200] 1,500 [200] (1,863 [200]) (- 1,606 [200]) (- 1,500 [200]) | 10 [0] | 5 [5] | 11 | 3,301 | 18 | | |
| | 計 | 1,863 [200] 1,606 [200] 1,500 [200] (1,863 [200]) (- 1,606 [200]) (- 1,500 [200]) | 10 [0] | 5 [5] | 11 | 3,301 | 18 | | |
| | | (10 [0]) | (5 [5]) | (11) | (3,301) | (18) | | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | 閱 覧 座 席 数 | 収 納 可 能 冊 数 | | 大学全体 | | | | |
| | 1,897.77 ㎡ | 268 席 | 111,111 冊 | | | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | 大学全体 | | | | |
| | 1,879.20 ㎡ | 柔道場 225.00 ㎡ | 剣道場 217.50 ㎡ | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 共同研究費は大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費 (運用コスト含む)を含む。 |
| | | 教員 1 人当り研究費等 | 420千円 | 420千円 | 図書購入費 | 15,000千円 | 1,000千円 | 1,000千円 | |
| | 共同研究費等 | 10,000千円 | 10,000千円 | 設備購入費 | 660,000千円 | 1,000千円 | 1,000千円 | | |
| | 学生 1 人当り 納付金 | 第 1 年次 | 第 2 年次 | 第 3 年次 | 第 4 年次 | 第 5 年次 | 第 6 年次 | | |
| | 1,796千円 | 1,496千円 | 1,496千円 | 1,496千円 | 千円 | 千円 | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等 | | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 九州保健福祉大学 | | | | | | | | 備考 |
|--|----------|------|--------------------------|------|-----------------|--------------|--------|----------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| <<AC対象学部等>> 生命医科学部 生命医科学科 | 4 | 60 | — | 180 | 学士 (生命医科学) | 1.17 1.17 | 平成27年度 | 宮崎県延岡市 吉野町1714番地1 | |
| 医療薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程 | 4 | 4 | — | 16 | 博士 (医療薬学) | 0.50 | 平成24年度 | 同上 | |
| (通信制)連合社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士(後期)課程 | 3 | 5 | — | 15 | 博士 (社会福祉学) | 0.53 | 平成16年度 | 同上 | |
| (通信制)社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 | 2 | 20 | — | 40 | 修士 (社会福祉学) | 0.17 | 平成14年度 | 同上 | |
| (通信制)保健科学研究科 保健科学専攻 博士(後期)課程 | 3 | 3 | — | 9 | 博士 (保健科学) | 0.44 | 平成16年度 | 同上 | |
| 保健科学専攻 博士(前期)課程 | 2 | 7 | — | 14 | 修士 (保健科学) | 1.06 | 平成14年度 | 同上 | |
| 社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科 | 4 | 40 | 3年次2 | 164 | 学士 (社会福祉学) | 0.62 1.09 | 平成16年度 | 同上 | |
| 臨床福祉学科 | 4 | 65 | 3年次5 | 430 | 学士 (社会福祉学) | 0.46 | 平成11年度 | 同上 | 平成27年度 臨床福祉学科収容定員減 145名⇒65名(△80) |
| 子ども保育福祉学科 | 4 | — | — | — | 学士 (社会福祉学) | — | 平成19年度 | 同上 | 臨床福祉学科3年次編入学 定員減6名⇒5名(△1) 平成28年度より学生募集停 止 子ども保育福祉学科 |
| 保健科学部 作業療法学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (保健科学) | 0.58 0.89 | 平成11年度 | 同上 | |
| 言語聴覚療法学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (保健科学) | 0.56 | 平成11年度 | 同上 | |
| 視機能療法学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (保健科学) | 0.34 | 平成11年度 | 同上 | |
| 臨床工学科 | 4 | 50 | — | 180 | 学士 (保健科学) | 0.54 | 平成19年度 | 同上 | 平成27年度 臨床工学科入学定員 40名⇒50名(10) |
| 薬学部 薬学科 | 6 | 140 | 2年次3 4年次3 | 864 | 学士 (薬学) | 0.93 0.96 | 平成15年度 | 同上 | |
| 動物生命薬科学科 | 4 | 40 | — | 140 | 学士 (動物生命薬科学) | 0.74 | 平成20年度 | 同上 | 平成27年度 動物生命薬科学科入学定員 30名⇒40名(10) |
| 通信教育部社会福祉学部 臨床福祉学科 | 4 | 500 | 2年次30 3年次150 4年次10 | 2400 | 学士 (社会福祉学) | 0.16 0.16 | 平成14年度 | 同上 | |

| 大学の名称 | 吉備国際大学 | | | | | | | 備考 | |
|--------------------|--------|-----|-----------|-----|-------------------|-----------|--------|------------------------|--|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定員 | 編入定員 | 収容員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| 社会学研究科 | | | | | | | | | |
| 社会学専攻 博士(後期)課程 | 3 | 4 | — | 12 | 博士 (社会学) | 0.08 | 平成9年度 | 岡山県高梁市 伊賀町8番地 | |
| 社会学専攻 博士(前期)課程 | 2 | 12 | — | 24 | 修士 (社会学) | 0.08 | 平成7年度 | 同上 | |
| 保健科学研究科 | | | | | | | | | |
| 保健科学専攻 博士(後期)課程 | 3 | 3 | — | 9 | 博士 (保健学) | 0.99 | 平成17年度 | 同上 | |
| 保健科学専攻 博士(前期)課程 | 2 | 6 | — | 12 | 修士 (保健学) | 0.83 | 平成12年度 | 同上 | |
| 社会福祉学研究科 | | | | | | | | | |
| 社会福祉学専攻 修士課程 | 2 | 7 | — | 14 | 修士 (社会福祉学) | 0.07 | 平成11年度 | 同上 | |
| 心理学研究科 | | | | | | | | | |
| 心理学専攻 博士(後期)課程 | 3 | 2 | — | 6 | 博士 (心理学) | 0.16 | 平成18年度 | 同上 | |
| 臨床心理学専攻 修士課程 | 2 | 15 | — | 30 | 修士 (臨床心理学) | 0.50 | 平成16年度 | 同上 | |
| 心理学専攻 博士(前期)課程 | 2 | 5 | — | 10 | 修士 (心理学) | 0.20 | 平成22年度 | 同上 | |
| 地域創成農学研究科 | | | | | | | | | |
| 地域創成農学専攻 修士課程 | 2 | 4 | — | 4 | 修士 (地域創成農学) | 0.25 | 平成29年度 | 兵庫県南あわじ市志 知佐礼尾370-1 | |
| (通信制)社会福祉学研究科 | | | | | | | | | |
| 社会福祉学専攻 修士課程 | 2 | 10 | — | 20 | 修士 (社会福祉学) | 0.85 | 平成14年度 | 岡山県高梁市 伊賀町8番地 | |
| (通信制) 連合国際協力研究科 | | | | | | | | | |
| 国際協力専攻 修士課程 | 2 | 7 | — | 14 | 修士 (国際協力) | 1.28 | 平成18年度 | 同上 | |
| (通信制)心理学研究科 | | | | | | | | | |
| 心理学専攻 博士(後期)課程 | 3 | 3 | — | 9 | 博士 (臨床心理学) | 0.77 | 平成18年度 | 同上 | |
| (通信制)保健科学研究科 | | | | | | | | | |
| 理学療法専攻 修士課程 | 2 | 15 | — | 30 | 修士 (理学療法) | 0.53 | 平成20年度 | 同上 | |
| 作業療法専攻 修士課程 | 2 | 10 | — | 20 | 修士 (作業療法) | 0.70 | 平成22年度 | 同上 | |
| (通信制)知的財産学研究科 | | | | | | | | | |
| 知的財産学専攻 修士課程 | 2 | 30 | — | 60 | 修士 (知的財産学) | 0.23 | 平成20年度 | 同上 | |
| 社会科学部 | | | | | | 0.69 | | | |
| ビジネスコミュニケーション学科 | 4 | — | — | — | 学士 (社会学) | — | 平成2年度 | 同上 | 平成26年度 ビジネスコミュニケーション学科学 募集停止 平成28年度 スポーツ社会学科3年次編 入学定員10名→0名(△20 名) |
| スポーツ社会学科 | 4 | 100 | — | 400 | 学士 (社会学) | 0.84 | 平成17年度 | 同上 | |
| 経営社会学科 | 4 | 60 | 3年次 10 | 260 | 学士 (経営社会 学) | 0.45 | 平成25年度 | 同上 | |
| 保健医療福祉学部 | | | | | | 0.90 | | | |
| 看護学科 | 4 | 60 | 3年次 10 | 260 | 学士 (看護学) | 1.07 | 平成7年度 | 同上 | 平成28年度 社会福祉学科入学定員 50名→40名(△10) 3年次編入学定員 20名→0名(△20) |
| 理学療法学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (理学療法) | 1.35 | 平成7年度 | 同上 | |
| 作業療法学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (作業療法) | 1.00 | 平成7年度 | 同上 | |
| 社会福祉学科 | 4 | 40 | — | 180 | 学士 (社会福祉学) | 0.20 | 平成23年度 | 同上 | |
| 心理学部 | | | | | | 0.56 | | | |
| 心理学科 | 4 | 50 | — | 200 | 学士 (心理学) | 0.58 | 平成19年度 | 同上 | |
| 子ども発達教育学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (子ども発達教育学) | 0.55 | 平成23年度 | 同上 | |

| 大学の名称 | 吉備国際大学 | | | | | | | 備考 | |
|----------------------------|--------|-----|----------------|-----|--------------------|-----------|--------|------------------------|-----------------------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定員 | 編入定員 | 収容員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| 文化財学部 アニメーション文化学科 | 4 | — | — | — | 学士 (文化財学) | — | 平成22年度 | 岡山県高梁市 伊賀町8番地 | 平成26年度より アニメーション文化学科 学生募集停止 |
| 地域創成農学部 地域創成農学科 | 4 | 60 | 3年次 10 | 260 | 学士 (地域創成農学) | 0.71 | 平成25年度 | 兵庫県南あわじ市志 知佐礼尾370-1 | |
| 外国語学部 外国学科 | 4 | 80 | — | 320 | 学士 (外国語学) | 0.35 | 平成26年度 | 岡山県岡山市北区奥 田西町5-5 | |
| アニメーション文化学部 アニメーション文化学科 | 4 | 40 | — | 160 | 学士 (アニメーション文化学) | 0.26 | 平成26年度 | 岡山県高梁市 伊賀町8番地 | |
| 通信教育部心理学部 子ども発達教育学科 | 4 | 50 | 2年次30 3年次30 | 350 | 学士 (子ども発達教育学) | 0.43 | 平成24年度 | 同上 | |

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生命医科学部 生命医科学科>

(1) 担当教員表

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|----|---------------|---------|---|------------|----|---------------|---------|----------------------|---|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専 | 教授 | 大野 英治 (67) | 平成27年4月 | 生命医科学概論Ⅰ 臨床細胞学総論Ⅰ 臨床細胞学総論Ⅱ 臨床細胞学総論Ⅲ 細胞診断学特論Ⅰ 生命医科学卒業研究Ⅱ | | | | | | |
| 専 | 教授 | 迫田 隅男 (67) | 平成27年4月 | 医学概論 生命医科学卒業研究Ⅰ | | | | | | |
| 専 | 教授 | 大野 節代 (65) | 平成27年4月 | エンカレッジ教育 キャリア教育 生命医科学概論Ⅱ 生理学Ⅰ 臨床生理学実習 臨床医学総論 臨床実習 生命医科学卒業研究Ⅰ | 専 | 教授 | 大野 節代 (66) | 平成28年4月 | QOL概論 人間の尊厳 | 平成28年4月 教育効果の充実を図るため、兼任教員から専任教員に変更(28) |
| 専 | 教授 | 西片 一朗 (59) | 平成27年4月 | 分子生物学 基礎免疫学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習 臨床化学Ⅰ 臨床化学Ⅱ RⅠ検査学 RⅠ検査学実習 生命医科学卒業研究Ⅰ | | | | | RⅠ検査学実習 | 平成28年4月入学生より 法律の改正により廃止(28) |
| 専 | 教授 | 池脇 信直 (57) | 平成27年4月 | 化学 統計学 公衆衛生学 微生物学Ⅱ 臨床免疫学実習Ⅱ 生命医科学卒業研究Ⅰ | | | | | | |
| 専 | 教授 | 栗栖 照雄 (71) | 平成27年4月 | 哲学 生命倫理学 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 清水 慶久 (52) | 平成27年4月 | 医用工学概論 医用工学実習 臨床検査総論 臨床検査総論実習 臨床検査医学総論 臨床検査学演習Ⅰ 臨床検査学演習Ⅱ 生命医科学卒業研究Ⅰ | 専 | 教授 | 清水 慶久 (54) | 平成29年4月 | 検査管理総論(関係法規含む) | 平成28年4月 専任予定者の就任辞退により変更(28) |
| 専 | 教授 | 所司 睦文 (52) | 平成27年4月 | 法学 情報科学概論 生理学Ⅱ 生理学実習 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅱ 臨床生理学Ⅲ 臨床生理学実習 生命医科学卒業研究Ⅰ | 専 | 教授 | 所司 睦文 (54) | 平成29年4月 | 医療安全管理学 医療安全管理学実習 | 平成28年4月入学生より 法律の改正により新設(28) |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|------------------------------|---------|--|----|-----|---------------|----------|--|---|
| 専 | 教授 | 三苫 純也 (49) | 平成27年4月 | 臨床免疫学Ⅰ 臨床免疫学Ⅱ 臨床免疫学Ⅲ 臨床免疫学実習Ⅰ 遺伝子検査学 生命医学卒業研究Ⅰ | 専 | 教授 | 三苫 純也 (50) | 平成27年4月 | 分子生物学 基礎免疫学 | 平成27年4月 教育効果充実のため担当者追加(27) |
| 専 | 准教授 | スティーブン・ マーク・スライター (64) | 平成27年4月 | 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ 実践英語Ⅲ 実践英語Ⅳ | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 大野 招伸 (57) | 平成28年4月 | 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ 病理学実習 <small>検査管理総論(関係法履修む)</small> 生命医学卒業研究Ⅰ | 専 | 教授 | 荒武 八起 (70) | 平成28年4月 | 解剖学Ⅱ 解剖学実習 臨床血液学Ⅰ 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習 <small>生命医学卒業研究Ⅰ</small> | 平成28年4月 就任辞退により変更(28) |
| | | | | | 専 | 教授 | 清水 慶久 (54) | 平成29年4月 | <small>検査管理総論(関係法履修む)</small> | 平成28年4月 就任辞退により変更(28) |
| 兼任 | 講師 | 大野 招伸 (56) | 平成27年4月 | 解剖学Ⅰ | 兼任 | 講師 | 内藤 一郎 (65) | 平成27年10月 | 解剖学Ⅰ | 平成27年10月 就任辞退により変更(28) |
| 専 | 准教授 | 薬師寺 宏匡 (50) | 平成27年4月 | 微生物学Ⅰ 微生物学実習 検査機器総論Ⅰ 検査機器総論Ⅱ 検査基礎実習 生命医学卒業研究Ⅰ | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 宮本 朋幸 (36) | 平成27年4月 | 生物学 臨床化学実習Ⅰ 臨床細胞学演習Ⅱ 細胞診断学特論Ⅱ ※ 生命医学卒業研究Ⅱ | 専 | 准教授 | 宮本 朋幸 (37) | 平成28年4月 | 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ 病理学実習 | 平成28年4月 専任予定者の就任辞退により変更(28) |
| 専 | 助教 | 西森 誠 (28) | 平成27年4月 | 物理学 医動物学 医動物学実習 臨床化学実習Ⅱ 臨床細胞学演習Ⅰ 細胞診断学特論Ⅱ ※ 生命医学卒業研究Ⅱ | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 福本 安甫 (70) | 平成27年4月 | QOL概論 | 兼任 | 教授 | 坂 佳代子 (71) | 平成27年4月 | QOL概論 ※ | 平成27年3月 福本安甫教授退職のため 平成27年度より担当者変更(27) 平成28年4月 兼任教員から専任教員に変更(28) |
| | | | | | 兼任 | 教授 | 小川 芳徳 (62) | 平成27年4月 | QOL概論 ※ | 平成27年3月 福本安甫教授退職のため 平成27年度より担当者変更(27) 平成28年4月 兼任教員から専任教員に変更(28) 平成28年4月 兼任教員から専任教員に変更(28) |
| 兼任 | 教授 | 山本 隆一 (65) | 平成27年4月 | 人間の尊厳 | 専任 | 教授 | 大野 節代 (66) | 平成28年4月 | 人間の尊厳 | 兼任教員から専任教員に変更(28) |
| 兼任 | 教授 | 山崎 きよ子 (58) | 平成27年4月 | ボランティア活動 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 秋葉 敏夫 (62) | 平成28年4月 | 国際保健福祉論 国際人道援助論 | | | | | | |
| 兼任 | 准教授 | 横山 裕 (48) | 平成27年4月 | 日向国地域論 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|---------------|---------|-------------------------------|----|----|---------------|---------|-------------------|--|
| 兼任 | 講師 | 阿南 建一 (68) | 平成28年4月 | 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習 | 専任 | 教授 | 荒武 八起 (70) | 平成28年4月 | 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習 | 平成28年4月 専任教員の就任により担当者変更(28) |
| 兼任 | 講師 | 荒武 八起 (70) | 平成28年4月 | 臨床血液学Ⅰ | 専任 | 教授 | 荒武 八起 (70) | 平成28年4月 | 臨床血液学Ⅰ | 平成28年4月 専任教員予定者の就任辞退により、専任教員として就任(28) |
| 兼任 | 講師 | 柴田 文孝 (62) | 平成27年4月 | メディアリテラシー 情報処理入門 情報処理演習 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 豊子 (59) | 平成27年4月 | コミュニケーション論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 矢島 順 (57) | 平成27年4月 | 心理学 | 兼任 | 講師 | 内藤 健一 (46) | 平成29年4月 | 心理学 | 平成29年4月 兼任教員から兼任教員に変更(28) |

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

| | |
|------------------------|-------------------------|
| 完成年度時における設置基準上の必要専任教員数 | うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数 |
| 14 名 | 7 名 |

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ① 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 現在(報告書提出時)の状況 | | | | | 現在(報告書提出時)の完成年度時の計画 | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|---------------|-----|----|----|------|---------------------|--------|-------|-------|-------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計(A) | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計(B) |
| 9 | 4 | 0 | 1 | 14 | 10 | 3 | 0 | 1 | 14 | 10 | 3 | 0 | 1 | 14 |
| (9) | (4) | (0) | (1) | (14) | | | | | | [1] | [Δ1] | [0] | [0] | [0] |

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ② 年齢構成

| 年齢構成 | | |
|-----------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 定年規定の定める定年年齢(歳) | 報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 | 完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数 |
| 教授・准教授・講師 | 65 | 6 |
| 助教・助手 | 60 | 6 |
| 歳 | 名 | 名 |

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 | | | |
|------------|-----|---------------------|------------|----------------|----------|-------------------|------|----|------|
| 1 | 准教授 | 大野 招伸 | 必修 | 解剖学Ⅰ | ② | 本人の申し出により就任辞退（28） | | | |
| | | | 必修 | 解剖学Ⅱ | ① | | | | |
| | | | 必修 | 解剖学実習 | ① | | | | |
| | | | 必修 | 病理学Ⅰ | ① | | | | |
| | | | 必修 | 病理学Ⅱ | ① | | | | |
| | | | 必修 | 病理学実習 | ① | | | | |
| | | | 必修 | 検査管理総論（関係法規含む） | ① | | | | |
| | | | 選択 | 生命医科学卒業研究Ⅰ | ① | | | | |
| 合計（A） | | | | 後任補充状況の集計（B） | | | | | |
| 就任を辞退した教員数 | | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） | | ①の合計数（a） | ②の合計数（b） | ③の合計数（c） | | | |
| 1 | 人 | 必修 | 7 科目 | 必修 | 6 科目 | 必修 | 1 科目 | 必修 | 0 科目 |
| | | 選択 | 1 科目 | 選択 | 1 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 |
| | | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 |
| | | 計 | 8 科目 | 計 | 7 科目 | 計 | 1 科目 | 計 | 0 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 | |
|---------|----|---------------------|------------|--------------|----------|----------|----|
| | | 該当なし | | | | | |
| 合計（C） | | | | 後任補充状況の集計（D） | | | |
| 辞任した教員数 | | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） | | ①の合計数（a） | ②の合計数（b） | ③の合計数（c） | |
| 1 | 人 | 必修 | 科目 | 必修 | 科目 | 必修 | 科目 |
| | | 選択 | 科目 | 選択 | 科目 | 選択 | 科目 |
| | | 自由 | 科目 | 自由 | 科目 | 自由 | 科目 |
| | | 計 | 科目 | 計 | 科目 | 計 | 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

| 合計（A）+（C） | | | | 後任補充状況の集計（B）+（D） | | | | | |
|-----------|---|---------------------|------|------------------|----------|----------|------|----|------|
| 辞任等した教員数 | | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） | | ①の合計数（a） | ②の合計数（b） | ③の合計数（c） | | | |
| 1 | 人 | 必修 | 7 科目 | 必修 | 6 科目 | 必修 | 1 科目 | 必修 | 0 科目 |
| | | 選択 | 1 科目 | 選択 | 1 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 |
| | | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 |
| | | 計 | 8 科目 | 計 | 7 科目 | 計 | 1 科目 | 計 | 0 科目 |

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の教員の担当予定科目については、教育上支障がないよう適切に教員を配置するよう配慮しており、教育効果については問題ないと考えている。学生への周知はシラバス等で行っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|------------------------------|--|---|--------------------|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月) | 生命医科学部生命医科学科の入学定員超過の改善に努めること。 | 九州保健福祉大学生命医科学部生命医科学科は平成27年度の開設であり、入学定員超過率は1.33倍であった。平成28年度は入学者数が65名であり、2年間の平均入学定員超過率は1.24倍となっている。 平成28年度入試において適正な入学者の確保をおこない平均入学定員超過率が改善されており、今後も入学定員超過率の適正な状況を維持するよう努めていく。 | |
| | 生命医科学部生命医科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 | 生命医科学部生命医科学科は平成27年度開設の学科であり、開設時70歳代1名、60歳代4名、50歳代5名（完成時6名）、40歳代1名、30歳代1名であった。これは、本学園の就業規則の「新たに学校・学部又は学科等を設置する場合は、その完成年度終了まで、関係職員の定年を延長することができる。」との規定に基づいた適切な運用となっている。今後も規定に則り、専任教員の教育・研究分野及び年齢構成を踏まえ、継続的な教育・研究の質の保証を考慮した教員組織編成に努めていく。 | |
| | 既設学部等（吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。 | 吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科の入学定員超過率は平成25年度1.40倍、平成26年度1.65倍、平成27年度1.22倍、平成28年度1.50倍であり4年間の平均入学定員超過率は1.44倍となっている。 平成27年度は改善できたが、平成28年度は、合格者に対する入学者の歩留率の見込みを誤ったため、大幅な入学定員超過率となった。 今後は、入学者数を抑制しつつ入学定員超過率の改善に努めていく。 | |

| | | |
|---|-------------|---|
| <p>既設学部等（吉備国際大学社会科学部経営社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、外国語学部外国学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科、九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部視機能療法学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> | <p>改善意見</p> | <p>社会科学部経営社会学科は、平成25年度に設置した学科であり、現在4年目となっている。開設以来、学生確保に向けて取り組んでいるが、これまでの入学者数は以下のとおりである。平成25年度春学期：22名・秋学期19名、平成26年度春学期：31名・秋学期12名、平成27年度春学期：28名・秋学期12名、平成28年度春学期：23名となっている。春入学・秋入学を合計した場合の入学者数及び入学定員充足率は、平成25年度：41名（0.68倍）、平成26年度：43名（0.72倍）、平成27年度：40名（0.67倍）となり、秋入学の学生の多くは外国人留学生であるが、秋入学を含めると定員充足率はほぼ0.7倍を満たしている。平成28年度は現在春学期入学者のみであるため0.38倍である。本年度も秋学期入学者についても積極的に受け入れ、定員充足率を改善していく計画である。</p> <p>平成28年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ春入学及び秋入学による学生の受け入れを推進し、入学定員の確保に努めていく。</p> |
|---|-------------|---|

保健医療福祉学部社会福祉学科は平成7年度に社会福祉学部2学科（社会福祉学科：入学定員100名、保健福祉学科：入学定員100名）の1学科として開設し、当初数年間は十分入学定員を充足していた。しかし、18歳人口の減少や社会福祉分野への進学希望者減少なども影響し、志願者の減少が続き、平成23年度には社会福祉学部社会福祉学科を募集停止し、保健医療福祉学部社会福祉学科（入学定員50名・3年次編入学定員20名）として新たにスタートした。しかし、平成25年度0.30倍、平成26年度0.30倍、平成27年度0.26倍、平成28年度0.17倍であり、厳しい状態が続いている。

平成28年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ春入学及び秋入学による学生の受け入れを推進し、入学定員の確保に努めていく。

入学定員の見直しについては、入学定員の適正化を図るため平成28年度から、入学定員10名を減らし40名とし、3年次編入学定員20名を減らすことにより、入学定員の見直しを図った。

心理学部心理学科は平成19年度に臨床心理学科（入学定員80名）として開設し、平成23年度に心理学科へと名称変更、平成25年度には入学定員を50名とした。春学期入学者の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：35名（0.58倍）、平成24年度：34名（0.57倍）、平成25年度：35名（0.70倍）、平成26年度：26名（0.52倍）、平成27年度：29名（0.58倍）、平成28年度：25名（0.50倍）となっている。学科名称変更や入学定員の変更を実施してきたが、なお、学科の特徴が十分PRできていないのが現状であると認識している。

平成28年度学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、新たな心理職として公認心理師国家資格が制定される予定であることから、それに対応する教育課程の充実を図り、本学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ、入学定員の確保に努めていく。

外国語学部外国学科は、平成26年度に設置した学科であり、現在3年目となっている。開設以来、積極的に学生確保に向けて取り組んでいるが、これまでの入学者数及び入学定員充足率は、平成26年度：34名（0.43倍）、平成27年度：28名（0.35倍）、平成28年度：29名（0.36倍）となっている。

定員確保への具体的な取組としては、この学科は、岡山市内の新たなキャンパスに開設したこともあり、その存在がまだまだ周知されていない面もあり、それに対するPRも十分できていないのが現状であると認識している。しかし、本学科の教育内容やキャンパスは、非常に特徴があるものとしており、効果的なPRをすることによって、学生確保の状況は改善できるものと考えている。そのための具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。

また、学科の魅力をリアルタイムでPRすることを目的として、学生に多大な影響力があるフェイスブックや学科ブログ等を活用し、実際に行われている授業や訪日外国人との交流等の内容を紹介し、学校説明会やオープンキャンパス等のイベント情報を積極的に発信している。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ、入学定員の確保に努めていく。

アニメーション文化学部アニメーション文化学科は当初、平成22年度に文化財学部の1学科として開設した。その後、平成26年度にアニメーション文化学部アニメーション文化学科（入学定員40名）として新たに開設した学科である。文化財学部アニメーション文化学科がアニメーションの制作に重点をおいた教育課程であったのに対し、アニメーション文化学部アニメーション文化学科は、アニメーションのプロデュースに重点を置き、制作から企画等、アニメーション全般にわたる教育課程としている。

開設以降の春学期の入学者数及び入学定員充足率は、平成26年度：6名（0.15倍）、平成27年度：7名（0.18倍）、平成28年度：13名であり、非常に厳しい状況となっている。

しかし、徐々にではあるが、本学科の教育課程が日本人学生に認知されてきた結果として入学者数が増加していると考えており、今後もさらに効果的なPRをすることによって、学生確保の状況は改善していくものと考えている。そのため具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。

また、平成26年度以降は本学の専任教授がプロデュースに関わったSFアニメが放送されたことを活用して積極的なPR活動を行っており、学科のホームページに、学生たちの学習の成果をPRするための常設の「学生ギャラリー」を設けるとともに、学科ブログによる情報発信も拡大させている。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ、入学定員の確保に努めていく。

九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科は、平成11年4月の九州保健福祉大学開設時に設置した学科である。近年の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：57名（0.39倍）、平成24年度：52名（0.36倍）、平成25年度：46名（0.32倍）、平成26年度：54名（0.37倍）、平成27年度：32名（0.49倍）、平成28年度：31名（0.47倍）となっている。本学科では平成23年度～平成26年度の4年間50名程度を維持していたものの、入学定員充足率が0.3倍台となっていた。これを踏まえ、適正化を図るため入学定員を見直し、平成27年度から入学定員を145名から65名に減員したため、入学定員充足率が、平成27年度0.49倍、平成28年度0.47倍となっている。

平成28年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、学科の魅力や専攻の特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ、入学定員の確保に努めていく。

九州保健福祉大学保健科学部視機能療法学科は、平成11年4月の九州保健福祉大学開設時に入学定員40名で設置した学科である。近年の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：29名（0.73倍）、平成24年度：13名（0.33倍）、平成25年度：24名（0.60倍）、平成26年度：23名（0.58倍）、平成27年度：8名（0.20倍）、平成28年度：18名（0.45倍）となっている。これは、18歳人口の減少、一般的（特に高校生等）に「視能訓練士」という職種そのものの認知度が低いことなども考えられる。しかし、本学科の入学者の動向を見ると、年度によって変動を示しているが、厳しい状態が続いている。平成28年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成28年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れている。一方で、本学科は国家資格の取得を第1の目標とすることから、国家試験合格に向けた在学生への教育の充実にとさらに取り組むと共に積極的なPRによって安定的な入学定員の確保に努めていく。

(28)

| | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------|--|--|
| <p>設置計画履行状況 調査時 (29年2月)</p> | <p>生命医科学部生命医科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> | <p>改善意見</p> | <p>生命医科学部生命医科学科は平成27年度開設の学科であり、開設時70歳代1名（完成時2名）、60歳代4名、50歳代5名、40歳代1名、30歳代1名となっている。これは、本学園の就業規則の「新たに学校・学部又は学科等を設置する場合は、その完成年度終了まで、関係職員の定年を延長することができる。」との規定に基づいた適切な運用となっている。今後も規定に則り、適切な運用に努めていく。また、若手教員を後継の人材として育成するとともに、主要な分野における専任教員の退職にあたっては、同分野の優秀な専任教員を採用することを基本として、継続的な教育・研究の質の保証を考慮した教員組織編成に努めていく。</p> | |
| | <p>同一設置者が設置する既設学部等（吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p> | <p>改善意見</p> | <p>吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科の過去4年の入学者と入学定員超過率は、平成26年度：66名（1.65倍）、平成27年度：49名（1.22倍）、平成28年度：60名（1.50倍）、平成29年度：42名（1.05倍）となっている。平成26年度と平成28年度は、合格者に対する入学者の歩留率の見込みを誤ってしまい大きく定員超過をした。しかし、平成27年度と平成29年度については、適正な歩留率を設定し、定員超過の是正に努めた結果、改善することができた。今後も、適正な歩留率を設定し、定員超過の改善に努めていく。</p> | |

| | | |
|--|-------------|--|
| <p>同一設置者が設置する既設学部等（社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部言語聴覚療法学科、視機能療法学科、吉備国際大学社会科学部経営社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、外国語学部外国学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> | <p>改善意見</p> | <p>社会福祉学部臨床福祉学科は、平成11年4月、九州保健福祉大学開設時に設置した学科である。当初の入学定員は145名としていたが、平成27年度から65名へと減員した。この入学定員による近年の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：57名（0.39倍）、平成24年度：52名（0.36倍）、平成25年度：46名（0.32倍）、平成26年度：54名（0.37倍）、平成27年度：32名（0.49倍）、平成28年度：31名（0.48倍）、平成29年度：34名（0.52倍）となっている。</p> <p>このように、平成23年度～平成26年度の4年間は、入学者数50名程度を維持していたものの、入学定員充足率は0.3倍台となっていた。そのため、入学定員の見直しを検討し、適正化を図るために平成27年度に145名から65名に減員した。その結果、平成27年度の入学定員充足率は0.49倍となり、平成29年度には0.52倍まで改善してきている。今後もさらに効果的なPRを継続し、学生確保の状況を改善していく計画である。</p> <p>平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、学科の魅力や専攻の特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ、入学定員の確保に努めていく。</p> |
|--|-------------|--|

保健科学部言語聴覚療法学科は、平成19年4月、九州保健福祉大学開設時に入学定員40名で設置した学科である。近年の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：37名（0.93倍）、平成24年度：38名（0.95倍）、平成25年度：28名（0.70倍）、平成26年度：20名（0.50倍）、平成27年度：27名（0.68倍）、平成28年度：31名（0.78倍）、平成29年度：12名（0.30倍）となっている。これは、18歳人口の減少、一般的（特に高校生等）に「言語聴覚士」という職種そのものの認知度が低いことなども考えられる。しかし、本学科の入学者の動向は、それぞれの年度の国家試験における受験者数や合格率に関連する側面も見られることから、国家試験合格に向けた在學生への教育の充実と、国家試験合格率（平成28年度の新卒者の国家試験合格率は100%であり、全国平均の89.9%を大きく上回っている）を積極的にPRすることによって学生確保を図っていく。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、大学における高校教員を対象とした学科説明会等）を実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学生に多大な影響力があるフェイスブックや学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ学生確保に取り組む。

一方で、本学科は国家資格の取得を第1の目標とすることから、国家試験合格に向けた在學生への教育の充実こそが最大の広報活動と捉えて取り組んでいる。本学科の平成28年度の新卒者の国家試験合格率は100%であり、全国平均の89.9%を大きく上回っていることから国家試験合格率を強くPRし、学生確保に取り組んでいる。

保健科学部視機能療法学科は、平成11年4月、九州保健福祉大学開設時に入学定員40名で設置した学科である。近年の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：29名（0.73倍）、平成24年度：13名（0.33倍）、平成25年度：24名（0.60倍）、平成26年度：23名（0.58倍）、平成27年度：8名（0.20倍）、平成28年度：18名（0.45倍）、平成29年度：6名（0.15倍）となっている。これは、18歳人口の減少、一般的（特に高校生等）に「視能訓練士」という職種そのものの認知度が低いことなども考えられる。しかし、本学科の入学者の動向を見ると、年度によって変動を示している。本学科は国家資格の取得を第1の目標としており、国家試験合格に向けた在學生への教育の充実や、国家試験合格率（平成28年度新卒者の国家試験合格率は100%であり、全国平均96.7%を大きく上回っている）を積極的にPRすることによって学生確保を図っていく。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス等）に加え、大学や学科の特色及び人材育成の目的や教育方法等を具体的に知ってもらうための大学における高校教員を対象とした学科説明会を開催実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れている。一方で、本学科は国家資格の取得を第1の目標とすることから、国家試験合格に向けた在學生への教育の充実さらに取り組むと共に積極的なPRによって安定的な入学定員の確保に努めていく。

吉備国際大学社会科学部経営社会学科は、平成25年度に設置した学科であり、現在5年目となっている。開設以来、学生確保に向けて取り組んでいるが、これまでの入学者数は、平成25年度春学期22名・秋学期19名、平成26年度春学期31名・秋学期12名、平成27年度春学期28名・秋学期12名、平成28年度春学期23名・秋学期10名、平成29年度春学期28名となっている。このように、経営社会学科では春入学・秋入学を合計した場合の入学者数及び入学定員充足率が、平成25年度：41名（0.68倍）、平成26年度：43名（0.72倍）、平成27年度：40名（0.67倍）、平成28年度：33名（0.55倍）、平成29年度：28名（0.47倍）となる。ただし、平成29年度は、現在、春入学のみの入学であるため0.47倍となっているが、秋学期の入学者を見込んでいる。今後も、学科の特色をさらに強く打ち出す広報活動を実施し、春入学及び秋入学による学生の受入れを推進し、定員充足を図っていく。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、大学における高校教員を対象とした学科説明会等）を実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信する取り組みを行っている。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ学生確保に取り組む。

吉備国際大学保健医療福祉学部社会福祉学科は平成7年度に社会福祉学部2学科（社会福祉学科：入学定員100名、保健福祉学科：入学定員100名）の1学科として開設し、当初数年間は十分入学定員を充足していた。しかし、18歳人口の減少や社会福祉分野への進学希望者の減少なども影響し、志願者の減少が続き、平成23年度には社会福祉学部社会福祉学科を募集停止し、保健医療福祉学部社会福祉学科（入学定員50名・3年次編入学定員20名）として新たにスタートした。しかし、入学定員充足が厳しい状態が続いているため、平成28年度の入学生から入学定員を50名から40名に減員し、3年次編入学定員20名についてはこれを募集停止することによって適正化を図った。しかし、平成29年度も入学定員充足が厳しいことから、さらなる教育改革を進め、定員充足を目指すこととしている。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、大学における高校教員を対象とした学科説明会等）を実施している。また、学科の魅力をリアルタイムでPRすることを目的として、学生に多大な影響力があるツイッターやフェイスブック及び学科ブログを活用し、実際にゼミで行われている授業や実習内容を紹介し、学校説明会やオープンキャンパス等のイベント情報を積極的に発信している。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ学生確保に取り組む。

吉備国際大学心理学部心理学科は平成19年度に臨床心理学科として開設し、平成23年度に心理学科（入学定員60名）へと名称変更、平成25年度には入学定員を50名とした。春学期の入学者数及び入学定員充足率は、平成23年度：35名（0.58倍）、平成24年度：34名（0.57倍）、平成25年度：35名（0.70倍）、平成26年度：26名（0.52倍）、平成27年度：25名（0.50倍）、平成28年度：25名（0.50倍）、平成29年度：40名（0.80倍）となっている。心理学科はこれまで、学科名称変更や入学定員の変更を実施し、広報活動においては学科の特徴を強くPRしてきた結果として、平成29年度は0.80倍と改善することができたと考えている。今後も、継続して効果的なPRを積極的に行うことによって、定員充足を目指す計画である。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、大学における高校教員を対象とした学科説明会等）を実施している。また、学科の魅力や特色を強くPRするために、学科ブログ等を活用して、授業や様々な活動をインターネット上で発信している。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ学生確保に取り組む。

吉備国際大学外国語学部外国語学科は、平成26年度に設置した学科であり、現在4年目となっている。開設以来、積極的に学生確保に向けて取り組んでいるが、これまでの入学者数及び入学定員充足率は、平成26年度：34名（0.43倍）、平成27年度：28名（0.35倍）、平成28年度：29名（0.36倍）、平成29年度：24名（0.30倍）となっている。

この学科は、岡山市内の新たなキャンパスに開設したこともあり、その存在がまだまだ周知されていない面もあり、それに対するPRも十分できていないのが現状であると認識している。しかし、本学科の教育内容やキャンパスは、非常に特徴があるものとしており、効果的なPRをすることによって、学生確保の状況は改善できるものと考えている。

また、開設以降の入学定員充足状況を踏まえて、慎重に入学定員の見直しを検討した結果として、入学定員の適正化を図るために平成30年度から50名に減員することとし、定員充足に向けた学生確保に取り組む計画である。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、大学における高校教員を対象とした学科説明会等）を実施している。また、学科の魅力をリアルタイムでPRすることを目的として、学生に多大な影響力があるフェイスブックや学科ブログ等を活用し、実際に行われている授業、交換留学の報告会、訪日外国人との交流等の内容を紹介し、学校説明会やオープンキャンパス等のイベント情報を積極的に発信している。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れる。

吉備国際大学アニメーション文化学部アニメーション文化学科は当初、平成22年度に文化財学部の1学科として開設した。その後、平成26年度にアニメーション文化学部アニメーション文化学科（入学定員40名）として新たに開設した学科である。文化財学部アニメーション文化学科がアニメーションの制作に重点をおいた教育課程であったのに対し、アニメーション文化学部アニメーション文化学科は、アニメーションのプロデュースに重点を置き、制作から企画等、アニメーション全般にわたる教育課程としている。開設以降の春学期の入学者数及び入学定員充足率は、平成26年度：6名（0.15倍）、平成27年度：7名（0.18倍）、平成28年度：13名（0.33倍）平成29年度：17名（0.43倍）であり、非常に厳しい状況ではある。

しかし、開設当初の入学者数及び入学定員充足率は6名（0.15倍）に対し、平成29年度には17名（0.43倍）となり、大幅に改善されている。これは、徐々にではあるが、本学科の教育課程が認知されてきた結果であると考えており、今後もさらに効果的なPRをすることによって、学生確保の状況は改善できるものと考えている。

平成30年度の学生確保への具体的な取り組みとして、一般的な広報活動（外部会場における学校説明会、高校訪問、出張講義、オープンキャンパス、大学における高校教員を対象とした学科説明会等）を実施している。また、平成26年度以降は本学の専任教授がプロデュースに関わったSFアニメが放送されたことを活用して積極的なPR活動を行っており、アニメシンポジウム、ゲームジャムなどのイベントに積極的に参加することにより、学科の認知度をあげる努力を行っている。学科のホームページには、学生たちの学習の成果をPRするための常設の「学生ギャラリー」を設けるとともに、学科ブログによる情報発信も拡大させている。さらに、平成29年度の入学者全員から入学の動機などについてアンケートを実施し、その情報を積極的に広報活動に取り入れ学生確保に取り組む。

なお、海外の教育交流協定校である黄冈師範学院（中国）から、文化財学部アニメーション文化学科への3年次編入学生を受け入れてきたが、アニメーション文化学部アニメーション文化学科でも3年次編入学生の受け入れを行うこととしている。その結果、平成28年度秋学期には、6名の編入学生を受け入れた。引き続き3年次編入学を継続し、学生確保を図っていく。

(29)

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<生命医科学部 生命医科学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 認可時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| 特に変更なし | |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州保健福祉大学教育開発・研究推進中核センター 教育開発部門 九州保健福祉大学教育開発・研究推進中核センター規程を別添添付 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育開発・研究推進中核センター教育開発部門は 平成28年度については、8回の開催であった。 第1回 平成28年 4月 4日(構成員12名中12名出席) 第2回 平成28年 5月16日(構成員12名中12名出席) 第3回 平成28年 6月21日(構成員12名中12名出席) 第4回 平成28年 7月27日(構成員12名中12名出席) 第5回 平成28年10月 4日(構成員12名中12名出席) 第6回 平成28年12月 1日(構成員12名中12名出席) 第7回 平成29年 1月24日(構成員12名中12名出席) 第8回 平成29年 2月21日(構成員12名中12名出席) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会の開催について ・リメディアル教育について ・授業アンケートの実施について ・授業参観の実施について ・GPAの活用について ・退学者防止対策について ・3つのポリシーについて ・履修規程の策定について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会・・・3回 ・リメディアル教育・・・入学前及び入学後にe-learningを使用して実施 ・授業アンケート・・・各科目1回 ・授業参観・・・随時 |
|--|

- ・ G P A . . . GPAの活用法について検討した
- ・ 退学者防止対策 . . . 退学者を減少させるため様々な検討をした
- ・ 3つのポリシー . . . 学校教育法施行規則の改正に伴い見直し及び公表を実施
- ・ 履修規程の策定 . . . CAP制及びGPA制度の導入に伴い、追試験、再試験の運用ルールを整備し履修規程とした
- ・ 授業評価アンケート . . . 学生がアンケート用紙に記入後、回収・評価
- ・ 授業参観 . . . 教員が自由に参観（随時）
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 第1回FD研修会（平成28年9月 8日開催88名参加）
 - ・ 第2回FD研修会（平成28年9月23日開催134名参加）
 - ・ 第3回FD研修会（平成29年2月22日開催94名参加）
- ・ 授業参観 前期53名 後期49名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業アンケート . . . 講義担当教員および各学部長・学科長へフィードバックし、集計結果を踏まえ授業改善へ取り組んでいる。
 - ・ 授業参観 . . . 教員個々が参考にして自分の授業改善に役立てる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 前期および後期の期末に各科目1回実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 各学科で公開方法は異なるが、学科内の教員が閲覧できるよう公開している。

（注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

癌の早期診断の担い手である細胞検査士の養成を目的に九州で最初となる学部・学科を設置した。開設して3年目になるが、入学した学生は臨床検査技師・細胞検査士として、全国で活躍したいという思いが極めて強く、講義・実習共に勉学に取り組む姿勢には強い目的意識が感じられる。人材育成が順調に推移していると総括評価される。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・ 平成27年7月1日
 - b 公表方法
 - ・ ホームページに掲載している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・ 財団法人大学基準協会の認証評価の結果、平成19年3月13日付けで「大学基準に適合している」と認定された。これにより、平成19年4月1日付けで正会員への加盟・登録が承認され、平成24年3月31日までの期間認定された。引き続き、第二期の認証評価を受けるべく平成23年度に申請を行い、平成31年3月31日までの期間認定された。

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 29 年 6 月 末日)